

本県関係で10人を表彰

SAFETY
2024

8日に仙台市内で開催

東北地方工事安全施工推進大会実行委員会（委員長・西村拓東北地方整備局長）は1日、東北地方工事安全施工大会（SAFETY2024）の受賞者を発表した。本県関係では、優良企業（現場代理人）9人と優秀論文1人が表彰される。表彰式は、8日午後1時5分から、仙台市青葉区の日立システムズホール仙台シニアホール（仙台市青年文化センター）で開かれる。

この大会は、東北地方整備局や東北6県、仙台市、東日本高速道路株東北支社、東北地域づくり協会のほか、東北建設業協会連合会など15の建設業団体で構成する実行委員会の主催。

東北地方における公共工事の安全施工の啓発と事故撲滅を目的として開かれており、今回で35回目となる。今年度は労働災害防止活動に積極的に取り組み、安全施工に貢献した現場代理人58人と、実行委員会が募集した「安全に関する体験・提案」の優秀論文（21

安全施工で事故撲滅へ

◇優良企業（現場代理人）表彰
（東北地方整備局）
△高橋学（株東北工設）
商）八戸自動車道R4
平野組）釣山(2)地区急
事
陸斗（株伊藤組）一般
県道東和花巻温泉線ほか東宮野目地区舗装補修工事△勝浦直人（株）
八戸管内立入防止柵工事
◇優秀論文表彰
（津嶋喜久也（豊島建設株）「河川・農業線近接工事に関する安
全作業・判断について」

◇優良企業（現場代理人）表彰
（東北地方整備局）
△高橋学（株東北工設）
商）八戸自動車道R4
平野組）釣山(2)地区急
事
陸斗（株伊藤組）一般
県道東和花巻温泉線ほか東宮野目地区舗装補修工事△勝浦直人（株）
八戸管内立入防止柵工事
◇優秀論文表彰
（津嶋喜久也（豊島建設株）「河川・農業線近接工事に関する安
全作業・判断について」

（編）が表彰される。また「安全に関する取組による工事の安全に貢献」した団体として、「宮城建設女性の会2」と「宮城建設女性の会2」が表彰される。同日は表彰のほか、労災防止に関する話題提供や工事の死亡者数は、全国で223人。そのうち東北では25人の尊い命が失われた。死亡災害の全産業に占める割合は、建設業が全国の約3割と最も高く、労働災害の撲滅が建設業関係者にとって大きな課題となっている。本県関係の受賞者は次の通り。（敬称略）

塗替工事△ 笹原卓也（兼田建設株）普代の沢筋砂防堰堤工事△ 澤里和行（有澤里土木工業）二級河川大川筋日